

平成29年6月15日(木)

愛知県美術館

担当 副田、深山

電話 052-971-5511(代)

内線 332

愛知県民生活部文化芸術課振興グループ

担当 足立、辻本

電話 052-954-6183(ダイヤル)

内線 2462、2460

バルテュス《白馬の上の女性曲馬師^{きょくばし}》を受贈しました！

- ・クリムト、ピカソと並ぶ名品《白馬の上の女性曲馬師》(評価額6億円)を受贈しました。
- ・「20世紀最後の巨匠」とも謳われるフランス生まれの画家バルテュスの絵画です。
- ・7月1日(土)からコレクション展の中で初公開します。



バルテュス《白馬の上の女性曲馬師》

1941年(1945年加筆) 油彩、ボード 78.5×89.7cm

この度愛知県美術館は、名古屋市在住の個人の篤志家が6億円で購入したバルテュスの絵画《白馬の上の女性曲馬師》を受贈いたしました。

バルテュス(1908年、フランス-2001年、スイス)は、画家や小説家、詩人たちが集う文化的な家庭に生まれ、早熟な才能を発揮しました。画家を志してからは古典絵画によく学び、パリで流行していたシュルレアリスム運動にも接近します。それまであまり描かれることのなかったありのままの少女の姿を描いたことで、批判を呼ぶと同時に高く評価されました。そんなバルテュスを、ピカソは「20世紀最後の巨匠」と評しました。

薄暗い情景のなか白馬に乗るのは、チュチュを着て冠をかぶる曲馬師の少女です。曲馬はサーカスのなかでもとり

わけ人気の高い演目のひとつで、馬上の離れ業などスピード感あふれる動きが魅力です。トゥールーズ=ロートレックやドガ、スーラ、ピカソといった多くの画家たちが曲馬に魅せられて描いた作品を残していますが、バルテュスのこの作品に描かれた光景は静けさに満ちており、サーカスの熱狂とはほど遠い、夢のなかのような雰囲気に包まれています。

クリムトやピカソと並んで愛知県美術館のコレクションを代表する作品のひとつとなるこの絵画を、7月から開催するコレクション展のなかで御披露目します。この機会に、是非足をお運びください。

1 作品詳細

バルテュス (バルタザール・クロソウスキー・ド・ローラ) (1908年、フランス - 2001年、スイス)

《白馬の上の女性曲馬師》

1941年 (1945年加筆)

油彩、ボード

78.5×89.7 cm

2 展示期間

2017年度第2期コレクション展

会場：愛知県美術館 10階展示室 8

会期：2017年7月1日(土) - 9月18日(月・祝)

開館時間：10:00-18:00 金曜日は20:00まで (入館は閉館30分前まで)

休館日：月曜日 (ただし7月17日[月・祝]、8月14日[月]、9月18日[月・祝]は開館) および7月18日[火]

一般 500 (400) 円 高大生 300 (240) 円 中学生以下無料

※ () 内は20名以上の団体料金

〈同時開催〉

大エルミタージュ美術館展 オールドマスター 西洋絵画の巨匠たち